令和８年度（2026 年度）　**西宮市立東山台小学校 学校経営方針**

学　校　教　育　目　標	
「ゆめ」はぐくむ学校 ～夢に向かって、主体的に生きる子供の育成～	
めざす児童像	めざす教職員像
□助け合える子 思い合う心を持って、助け合いができる子 □よく考える子 自ら学び続ける子 □元気な子 心と体を鍛え、最後までやりぬく子	□子供にとってのベストを大切にする教職員 □子供のよさを引き出すことのできる教職員 □夢を語り合い、実現に向けて協働できる教職員

目標達成への考え方

「つながり」と「いろどり」をもとに主体的な子供の育成を図る」

本校が開校して３０年を経過した。これまでの間、本校が大切にしてきたことは、ここ創造の丘「ナシオン」が子供たちにとっての「ふるさと」であり、その「ふるさと」の地で地域や保護者とともに持続可能な教育活動を行うことである。

近年、時代の変化が激しく、世の中の価値観は多様化・複雑化している。そこで、開校当初より大切にしてきたことをしっかりと継承し（不易）、さらに次の１０年を見据え、これまでの当たり前を今一度見つめ直す（流行）必要がある。この不易と流行を、様々な「つながり」を大切にしつつ、教育活動に「いろどり」を持たせることにより主体的な子供の育成を図っていきたいと考えている。

学校経営の重点

１．人権尊重の精神に立った共生の心の育成　＝　人のつながり

○　学年・学級経営の充実
- 学年がひとつのチームとなり、課題と成果を共有し、児童の育成に組織的に取り組む。
- 児童一人ひとりが大切にされ、自己有用感を感じられるあたたかい学級づくりに努める。

○　開発的な生徒指導の充実（人権の感性を高める教育）
- 多面的な児童理解を深め、可能性を引き出すための手立てを学年で共有し、実践する。
- 特別支援教育や児童理解・学級経営に関する交流会や研修会を充実させ、実践する。
- 配慮を要する児童への共通理解と協力体制を推進する。
- 教育相談（心のケア）を充実する。

○　生命の尊厳、共生の視点に立った教育の実践
- 生命・人権・自尊感情を大切にする人権教育を推進する。
- 児童の心に響く道徳教育を推進し、実践する。
- 体験活動や多くの人とふれあう活動を通して、豊かな心の育成を図る教育を推進する。
- 「ドリームタイム」や全校的行事で児童の主体性を育む教育活動の充実を図る。

２．学ぶ喜びと学びの手応えを感じる授業の創造　＝　学びのつながり

○　学ぶ意欲・わかる楽しさが実感できる授業の創造
- ・柔軟な教育課程の編成に努め、今日的な教育課題への対応を図る。
- ・子供の発達段階や実態に即し、指導と評価の一体化を図る。
- ・「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」のバランスがとれた指導を図る。
- ・タブレット端末等の活用を促進し、関心意欲と技能や知識の定着と向上を図る。
- ・系統立てた「キャリア教育」や「総合的な学習の時間」を展開し、未来志向の教育の推進を図る。
- ・学校司書と連携し、読書活動の質・量・意欲の向上を図る。

○　学校生活にいろどりをもたらす時間の確保
- ・学習を効果的効率的に行うことで余白の時間を生み出し、子供が主体的に学習する時間の確保に努める。

３．学びを支える教育環境の整備　＝　安心のつながり

○　安全で安心な教育環境づくりの推進
- ・危機に対応できる実践的で具体的な研修を推進する。（緊急時の防犯体制や命に直結する危機管理体制の確立）
- ・学校安全計画、防災教育計画、いじめ防止基本方針を作成し、地域・保護者・関係機関と連携を取りながら安全安心な教育環境づくりに取り組む。
- ・基本的生活習慣や学習規律など、ルールやマナーを身につけ安心して過ごせる学習環境を確立する。
- ・個人情報の取り扱い、ハラスメント等についての理解を深め、実践する。

○　美しい学校環境づくりの推進
- ・自分たちで美しい学習環境をつくりだすという児童の自主的自立的な清掃美化活動を展開する。
- ・「安全・情報・美化相互評価の日」を活用する。
- ・オープンスペースの有効活用を視野に入れ、心豊かに過ごせる学習環境を意識した掲示方法や内容、修理整備に取り組む。

４．家庭・地域との連携　＝　地域とのつながり

○　家庭・地域とともにある学校づくりの推進
- ・各教科・領域で、地域人材を活用することで教育活動の充実を図る。
- ・学校行事等に保護者や地域ボランティアを導入し、児童とのふれあいの場とする。

○　パートナーシップの精神のもと、コミュニティースクール、地域・家庭との連携
- ・コミュニティースクールでの熟議や行事後の保護者アンケート結果を、教育活動に反映する。
- ・ホームページやミマモルメなどを活用し、学校便り等の情報を積極的に発信する。

○　近隣の学校園との教育連携の推進
- ・近隣校種間の連携を推進し、相互理解と系統性のある教育活動を推進する。

５．夢を語り合い、学び続ける教職員集団　＝　教職員のつながり

○　教職員が、互いに敬意をもって役割を果たしながら、校内研修や自主研修へ積極的に参加する。

○　先を見通した計画と実践で、勤務時間の適正化を図り、ゆとりある職場環境づくりを推進する。